

日本再建、
俺がやる!!

国会宅配便

発行所 / 自由民主党静岡県第三選挙区支部 〒438-0086 静岡県磐田市見付5738-13 TEL:0538-30-7701 FAX:0538-30-7702

「強い経済」と「地方の創生」

経済の好循環実現へ

○まずは景気回復

経済の「好循環実現国会」と位置付けられた第186回通常国会は、景気回復とデフレ脱却を確かなものにするため、平成25年度補正予算(総額5兆4744億円)と平成26年度予算(総額95兆8823億円)を「15カ月予算」として作り上げ、切れ目のない景気対策を実行した。さらに、成長戦略関連法案やその他の重要法案など、多くを成立させた。

○経済の好循環

春には多くの企業でボーナスアップが実現、夏にはボーナスが過去30年間で最高の伸びとなり、6月の有効求人倍率は1・10と高水準だ。本年4月には、消費税を8%に引き上げ、今後、伸び続ける社会保障費の充実を図ったほか、平成25年度補正予算では景気の落ち込み防止、低所得者や子育て世代への支援も盛り込まれた。

○成長戦略のさらなる推進

しかし、景気回復の波は、いまだ全国津々浦々に行き渡っていないと言えず、この好循環を力強く回

転させるため、成長戦略のさらなる推進が必要だ。今国会、民間投資・中小企業活性化、技術立国、競争力の強化、国際展開の促進など様々な戦略法案が成立した。

また、安倍総理は地方の活性化のほか、女性が輝く社会作りのため「待機児童の解消」「職場復帰・再就職の支援」「女性役員・管理職の増加」などを進める考えを示している。

○安全保障法制

一般の安全保障法制のための閣議決定は、大切な国民の皆さんの命を守り、平和な暮らしを守ることに目的だ。我が国を取り巻く安全保障環境は変化し、尖閣諸島に見られるように、我が国は重大な課題に直面している。力強い外交の推進、国際法にのっとった行動などで紛争の平和的解決を図らなければならない。さらに、我が国の防衛力を適切に運用し、同盟国米などの協力関係を深め、抑止力を向上させて我が国に脅威が及ぶことを防止することが必要不可欠であり、そのための集団的自衛権行



▲7月17日 官邸にて菅官房長官

使である。国民の皆様の命を守り、平和な暮らしを守るために何をすべきかを真剣に考えることが政治家の使命である。

閉会后、安倍総理は記者会見でこう述べた。「これまでの様々なチャレンジは確実に成果を上げていく。今日よりも明日はきっと良くなる。希望に満ちあふれた日本を取り戻すため、これからも国民の皆さんとともに、この道を歩んでいく。」



▲5月18日 袋井太郎助地区運動会

国家公務員制度改革法	内閣人事局を設置して官邸主導の戦略的人事を目指す
地方教育行政法	自治体の教育委員会制度を見直し首長権限を強化する
児童福祉法	小児がんなど子供の慢性疾患の負担額を軽減
パートタイム労働法	正社員並みの待遇を受けられる対象を拡大
経営安定交付金法	農業の担い手確保と所得安定を図る
多面的機能発揮法	日本型直接払い制度の創設
電気事業法	電力の小売業参入を全面自由化
国民投票法	施行から4年後に憲法改正への投票権を18歳以上とする

【成立・改正した主な法律】

「2030年の日本」検討

○国家戦略本部 中間報告

2030年は東京五輪後の新しい時代の序章で、決して遠い未来ではない。国家戦略本部では①現在から予測しうる2030年の日本を将来の姿として想定する②何がどう変わるか、パラダイムシフトしている分野は何かを明らかにする③社会や経済に与える影響を明らかにする、との観点から、日本の方針・対策を考察することとした。24回にわたる専門家からのヒアリングで、確度の高い4つの変化と国際秩序の変動が見えてきた。

- I. 人口の変化…少子化、長寿化、東京一極集中、世界の人口爆発
- II. 技術の変化…革新技術(生命工学・人工知能・ロボット・自動運転)、情報通信、エネルギー
- III. 環境の変化…異常気象、災害、食糧
- IV. 時空の変化…サイバー、グローバル化、宇宙、海洋、時間、エネルギー
- V. 国際秩序の変動…多極化、中国の台頭、シレーン安全保障

○地方の創生

増田寛也元総務相は、「人口1万人未満の自治体は、2040年過ぎには人口消滅の可能性がある。合計特殊出生率を2・1まで回復できたとしても、人口が安定するのは2090年頃。大都市圏への人口移動を押しとどめるような戦略を策定すべき。」と主張。これは、党や官邸に影響を与え、未来を託せる地方のため、政府には「まち・ひと・しごと創生本部」党には「ふるさと」に人口と活力を取り戻すプロジェクトチームが設置された。地方が元気になることではじめて日本を取り戻せる。今後の国政の最重要テーマだ。



▲6月30日 国家戦略本部「中間報告」官邸申入れ



委員会質疑の報告

児童養護と更生保護の協力を

児童養護施設で育った若者にとって、理解ある職場に就職できるか否かは重要。更生保護に協力して下さる雇用主の方々の力を借りるため、法務省と厚生労働省の垣根を越えた取り組みを検討すべき。他にも外国法事務弁護士法改正についても質疑。



3月19日 法務委員会

避難計画の策定が急務

「安全・安心」とは言うものの、安全は科学の問題、安心は心理の問題。原発が「安全」とされても、地域住民の皆様は「安心」のためには、周辺自治体の避難計画を早急に策定しなくてはならない。そのためには国がもっと前面に出るべきである。



4月17日 原子力問題調査特別委員会

インフラ整備で品質確保

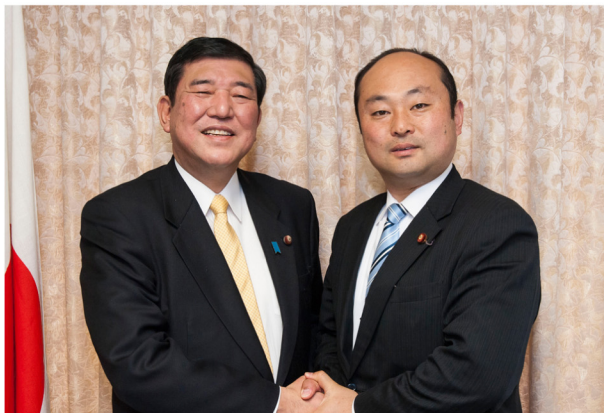
長年に亘り、公共事業予算が抑えられたため、インフラの老朽化が進むとともに、建設事業の人材が不足し技術の継承が危ぶまれている。品質を保ち人材が集まるような業界に戻すため、ダンピング(安値競争)を防止する法律が必要となった。自民党を代表して質疑。



5月23日 国土交通委員会



5月2日 袋井駅前での街頭演説



3月26日 石破幹事長と1回生議員との昼食会



3月13日 掛川下俣自治会三役の方々がお越し下さいました



2月5日 磐田市商工会青年部の方々がお越し下さいました



6月22日 田んぼアート in 菊川 2014 田植え



6月7日 ふるさと対話集会(大分県)



5月6日 お茶摘み



自民党掛川支部東山口分会、その他にも掛川商工会議所青年部、自民党豊岡支部、自民党菊川支部、磐田JC、東海鉄道OB会静岡地方本部、御前崎市商工会青年部の方々がお越し下さいました



7月16日 武豊火力発電所



7月7日 磐田市見付民生児童委員の方々がお越し下さいました

コラム 猛虎千里

均整のとれた身体

国会議員にも健康診断はあります。以前から「肥満」と診断されていたので気にも留めなかったのですが、秘書から「この数字では非常にまずいです。何とかしましょう。」と言われてしまいました。通常国会が閉幕して地元に戻ってから、早速、妻にも協力してもらい、野菜中心の食事に切り替えました。これまでの食生活がいかに健康に悪かったか思い知らされています。中世ヴェネツィアは、宿敵オスマントルコのマホメッド二世が肥りだして健康

状態が思わしくないとか、痩せて健康を回復したとかの情報を得て、対策を練ったそうです。徳川家康公が健康維持のため、漢方の知識がかなり高かったのはあまりにも有名です。均整のとれた身体が直接歴史に影響を及ぼすか。少なくとも国民の皆さんの負託に応えるためには健康でなくてはなりません。努力の成果をお見せすることが出来るよう、これもまた精進です。



宮澤博行略歴



昭和50年1月 旧磐田郡に生まれる
平成5年3月 磐田南高等学校卒業
平成9年3月 東京大学法学部卒業
平成15~24年 磐田市議会議員(3期)
平成24年12月 衆議院議員 初当選

衆議院 国土交通委員会、法務委員会、原子力問題調査特別委員会 各委員
自民党 運輸・交通関係団体副委員長
自民党 国家戦略本部主査
自民党 青年局長
趣味 剣道(五段)・居合道(三段)・水鷗流

【磐田事務所・自民党静岡三区支部】
〒438-0086 静岡県磐田市見付 5738-13
TEL: 0538-30-7701 FAX: 0538-30-7702

【国会事務所】
〒100-8981 東京都千代田区永田町 2-2-1 衆議院第一議員会館 1021号室
TEL: 03-3581-5111 内線51021 FAX: 03-3508-3435

E-mail: office@miyazawa-hiroyuki.jp <http://www.miyazawa-hiroyuki.jp>

磐田事務所地図

至 JR 磐田駅

静岡県第三選挙区

磐田市、袋井市、掛川市、菊川市、御前崎市(旧浜岡町)、森町、浜松市(旧春野町)